

13番

東京都

JAが目指す
地域と農をつなぐ
～未来へ続く魅力ある町田農業～

J A町田市

荻野 満

おぎの

みつる

JAが目指す 地域と農をつなぐ

～未来へ続く魅力ある町田農業～

JA町田市 荻野 満





本日お伝えする内容

1. JA町田市の概要
2. JAと農業の現状分析
3. 現状からの課題
4. 地域と農をつなぐ施策
 - 具体的な内容
 - 成功のために
5. 効果・まとめ



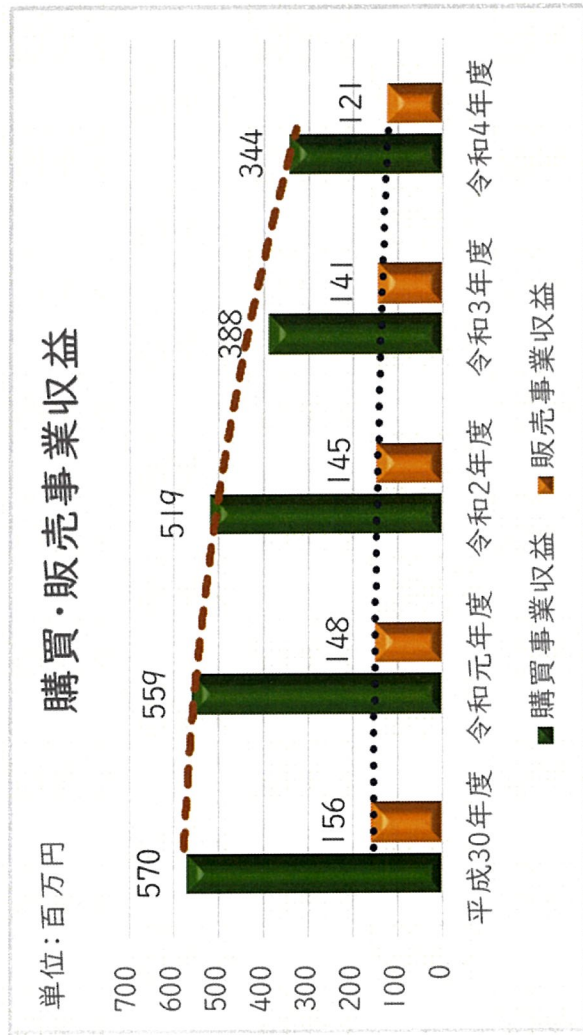
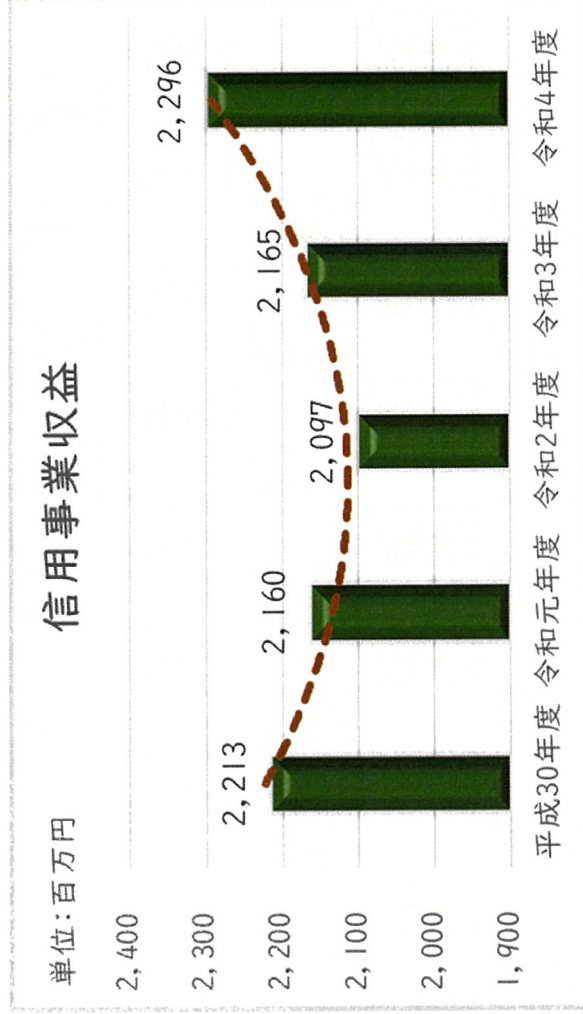
J A町田市について

- ▶ J A町田市は市内5農協が合併して誕生
- ▶ 組合員構成は正組合員 2,158人 } 60歳以上の割合
准組合員11,190人 } **73.4%**
- ▶ 東京都の中でも農業がさかんな環境
- ▶ “農”を基軸に据えた事業を展開している



事業の現状

- ▶ J A 町田市は都市型の農業協同組合
- ▶ 金融事業(信用・共済)収益は事業全体の85%以上
- ▶ 経済事業(購買・販売)収益は減少傾向





現状分析(SWOT分析)

<p>内部環境</p> <p>強み (Strengths)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組合員顧客基盤 ・ J A の知名度・ブランド力 (安心安全な取引) ・ 総合事業による様々なサービス (信用・共済・経済・宅建) 	<p>弱み (Weaknesses)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組合員、地域住民とのつながりが希薄 ・ 若年層の利用者が少ない ・ 次世代組合員の取り込み不足
<p>外部環境</p> <p>機会 (Opportunities)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業に対する期待とニーズの高まり ・ 食の安全意識の高まり (新鮮な農産物提供、地産地消) ・ 再開発などによるファミリー層の転入増加 ・ 新規顧客獲得 (地域住民) 	<p>脅威 (Threats)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組合員、農業者の高齢化と減少 ・ 次世代の組合員離れ ・ 企業の農業参入が進むとJAの独自性低下 ・ 農地流出の可能性

『強み×機会』を活かすには
“農” を通じた地域住民と組合員との交流

町田農業について



▶ 町田農業の特徴

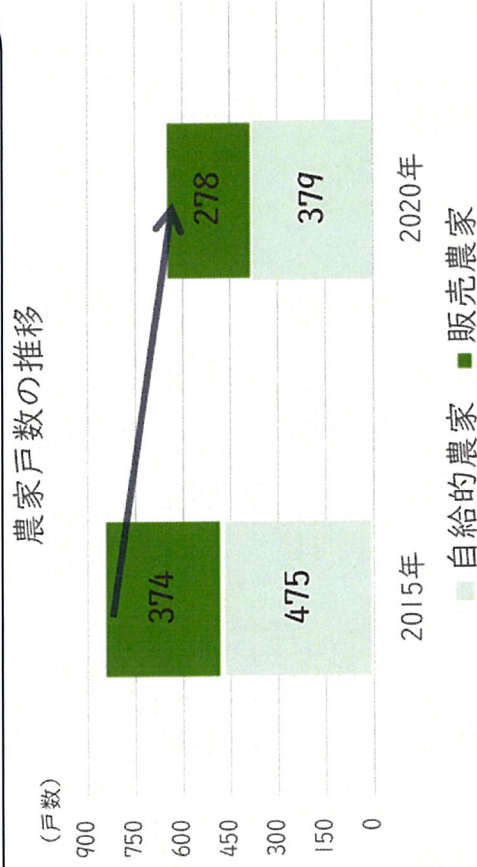
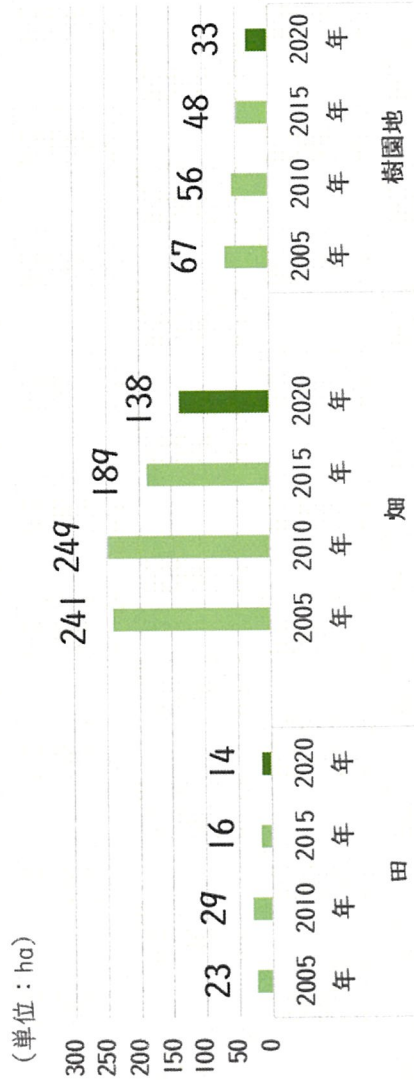
特徴 生産地と消費地との距離が近い

特徴 地産地消に取り組んでいる

▶ 町田農業の現状

現状 相続などにより農地面積減少

現状 高齢化や担い手不足により農業者減少



資料：2020年農業センサス

J Aと農業の課題



〈〈 現在 〉〉 組合員との対話や地域とのつながりが希薄
“農地”は高齢化、担い手不足により減少

〈〈 10年後 〉〉 J Aの組合員顧客基盤が縮小
“農地”は相続等により売却が増加

〈〈 15年後 〉〉 J Aの業績悪化、事業活動の縮小
“農地”は宅地になる

〈〈 数十年後 〉〉 地域農業の衰退により J A 町田市の存在価値…



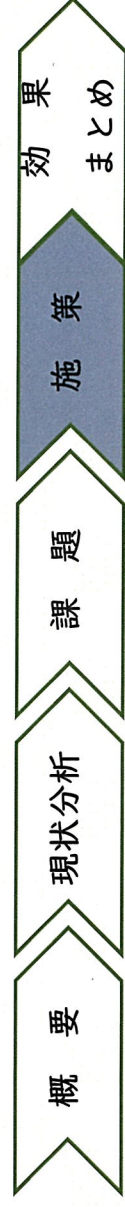
なぜ農地を守る必要があるのか

都市農業の役割

- ▶ 地域社会における体験・学習・交流(コミュニティ形成)
- ▶ 新鮮・安心な地場野菜の提供
- ▶ 健康な身体づくり
- ▶ 気分転換やストレス緩和
- ▶ いざという時の防災・減災 など

「地域課題の解決」や「新たな価値の創出」につながる

施策の方向性

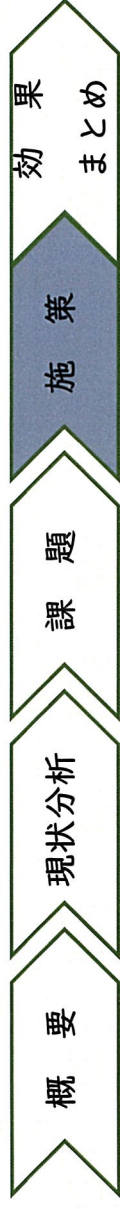


“地域社会”を巻き込んだ“農地保全”の提案！！

《施策》

農家と援農者をマッチング

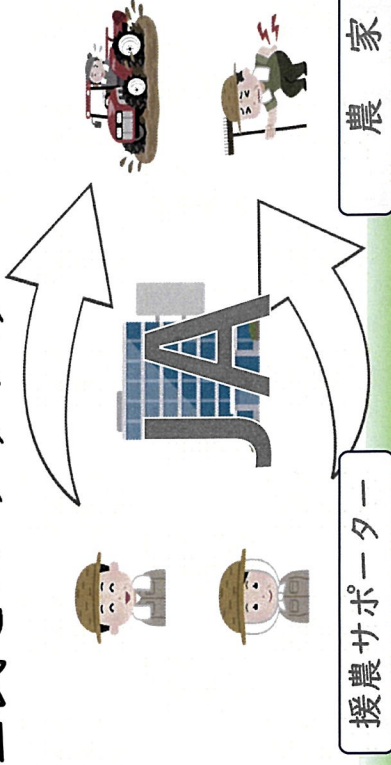
地域農業の活性化・必要とされるJA町田市へ！



施策の内容

『人手が必要な農家と地域を“つなぐ”』

- ▶ 特色(まもる)：組合員の農業をサポート
- ▶ 特色(そだてる)：JA(営農支援課)による援農サポーター研修
- ▶ 特色(つなぐ)：JAが農家と地域住民をマッチング



援農サポーター

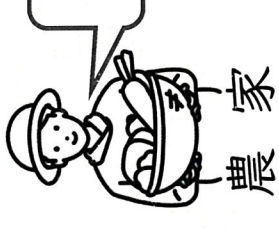
農家



成功のために



農業を行ったことがないから“不安”



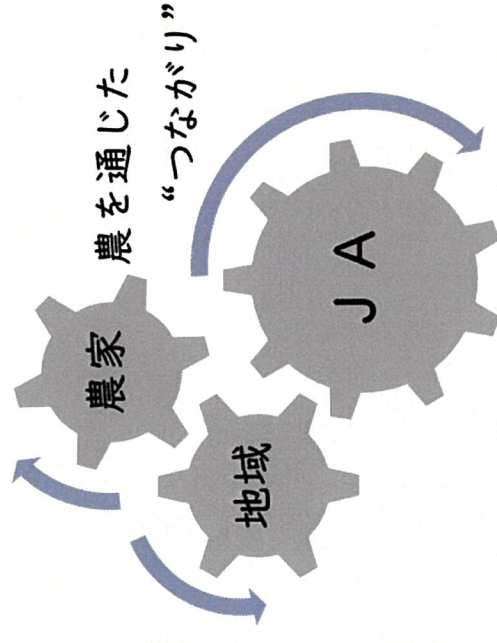
農作業を教えなければいけないから“手間”



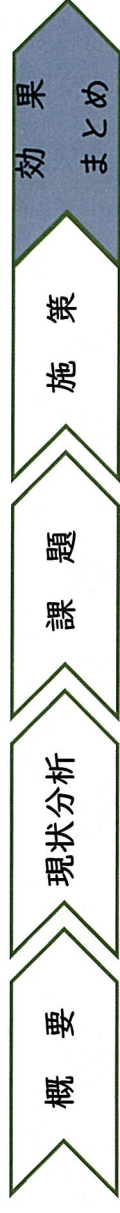
地域住民と農業者が参加しやすく、
お互いが満足感を得やすい環境を構築

施策の効果

- ▶ “農” にふれあう
- ▶ 多様な担い手が“農”で活躍
- ▶ “農”を通じたコミュニティ形成



『町田農業がより魅力あるものに』



まとめ

J Aは組合員・地域社会に必要とされ

地域社会に浸透した組織体となる！！

『地域』 “つなぐ” 『農』

J Aの存在意義は農業を通じた地域社会への貢献